

令和4年度 年度始め部課長への訓示

今日から、新年度のスタートとなります。

部長が退職したこと、大きな組織改編があったことなどにより、部課長の異動も大きなものとなりました。

部課長の皆さんには、それぞれが与えられた役割をしっかりと果たしてもらいたいと思っておりますが、懸案事項は、部局をまたがることも多く、役場全体で問題意識を持つようお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症については、第6波が完全に収束しないままで、陽性者数が再び増えてきそうな気配であります。ワクチンの3回目接種は、約50%と順調に進んでいますが、基本的な感染対策を継続していくことが肝要ですので、皆さんも引き続き、徹底して頂きたいと思っております。

昨年の年度始めにも、「リスタート」ということを皆さんに話しましたが、今年も状況が変わっていないことに驚いています。コロナ禍を言い訳に何もしないわけにはいきませんので、何が出来るか真剣に考えましょう。地域のコミュニティも、この2年間で一層厳しさを増していると危惧しています。住民に行動してもらうために何が必要か？まずは、直接話し合うところからスタートしなければなりません。住民も役場の様子を見ているでしょうから、役場が率先して動くことで、住民の行動変容へと繋げていきましょう。

そして、もう一つ、業務の可視化です。

昨年度、学校教育課、住民課、税務課で先行して実施しましたが、いろいろな気づきを得られました。今年は、全庁的に実施します。業務の棚卸をすることで、作業の効率化だけでなく、業務そのものをドラスティックに変えるという意欲を持って取り組んでもらいたいと思っております。それが、ひいては、職員の働き方改革へも繋がっていくものと確信しておりますので、面倒だと思わず、しっかりと成果を出していきましょう。

私は、役場職員は優秀で真面目だと感じています。ただ一方で、頑張りすぎてしまう傾向もあるのかなど心配しております。今年度から、総務人事課内に「こころとからだの保健室」を設置しましたが、まずは、部課長の皆さんの声かけが大事ですので、“部下の心身の健康を守る”という姿勢で臨んでください。

今年度も、共に頑張ってください。